

## ミニ・ディスクロージャー誌

第88期 営業のご報告

平成21年4月1日～平成22年3月31日

## 目次

ごあいさつ .....	2
企業理念・経営方針 .....	3
営業の概況 .....	4
地域コーナー .....	9
CSR の取組み .....	11
トピックス .....	16
財務諸表 .....	19
役員・株式の状況 .....	21

## ごあいさつ



皆さまには、平素より千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。平成21年度の当行の経営内容や業績、CSRの取組み等につきまして、皆さまにご理解いただけますよう、ミニ・ディスクロージャー誌にまとめました。ご高覧いただければ幸いです。

当行は、平成21年度から平成22年度の2年間の新中期経営ビジョン《Change&Challenge21》において、「安定・持続的な成長への挑戦」「高い経営品質の実現への挑戦」「地域との強固なリレーション構築への挑戦」の、3つの重要経営課題を掲げまして、具体的な戦略施策を展開しております。今年度は、この中期経営ビジョンを仕上げる重要な年となります。

最近の経済状況は回復の兆しを見せ始めているとはいえ、中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい現状にあります。このような時期こそ千葉県経済の力強い回復に向けて、地域金融機関としての役割を果たすべく、行員・スタッフが一丸となって業務に邁進し、お客さまへのサービス向上に努めてまいります。

今後とも、より一層のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成22年6月

取締役頭取・CEO 青柳俊一

## 当行の概要 (平成22年3月31日現在)

設 立	昭和27年1月
本 店	千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
資 本 金	579億4,189万3,949円
従 業 員 数	1,295名



[ちば興銀は、次世代認定マークを取得しています。]

# 企業理念・経営方針

## 企業理念

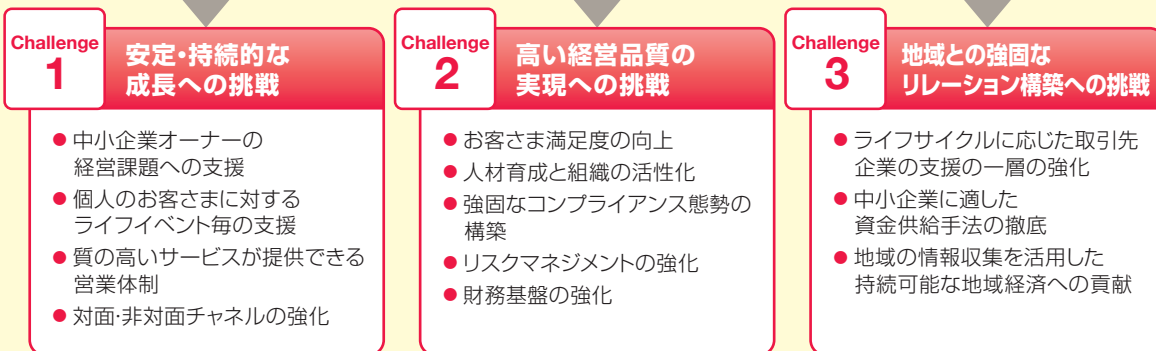
- 地域とともに 私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。
- お客さまのために 私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。
- 「親切」の心で 私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。

## 経営方針

平成21年度、平成22年度の2ヵ年におきましては、新中期経営ビジョン『Change & Challenge21』に基づき、《Challenge 1：安定・持続的な成長への挑戦》《Challenge 2：高い経営品質の実現への挑戦》《Challenge 3：地域との強固なリレーション構築への挑戦》の3つの経営課題に取り組んでおります。今年はこの取り組みの仕上げとなる重要な年となります。全行員・スタッフが一丸となって業務に邁進し、『お客さまのMy Bank』を目指してまいります。

### ◆新中期経営ビジョン(Change & Challenge 21)

目指す姿：『お客さまのMy Bank』…お客さまにMy Bankとして選んでいただくために



# 営業の概況

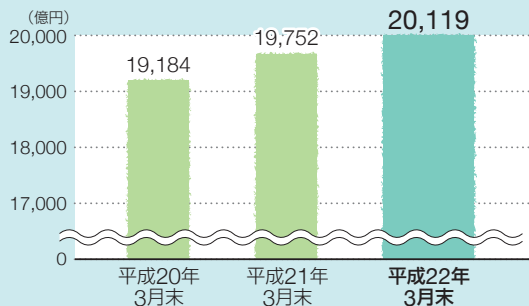
グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

## 預金・貸出金等の状況 ～預金・貸出金は堅調に推移～

総預金の当期末残高は、平成21年3月末比366億円増加し2兆119億円となりました。特に個人預金については、「マリーナズ応援団定期預金」やスクラッチくじにより適用金利が決まる「くじ付き定期預金 ラッキースクラッチ」がご好評いただき、平成21年3月末比451億円増加し、1兆5,964億円となりました。

投資信託の預資産残高も、平成21年3月末比、270億円増加し、1,561億円となりました。

### ◎総預金残高 ※総預金残高には譲渡性預金を含めております。

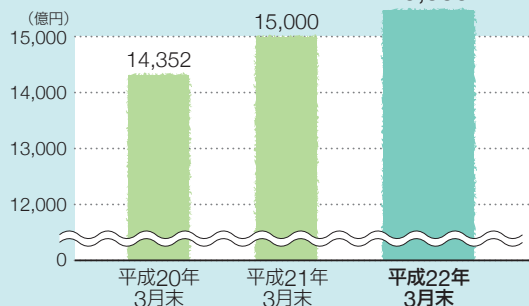


### ◎投資信託残高

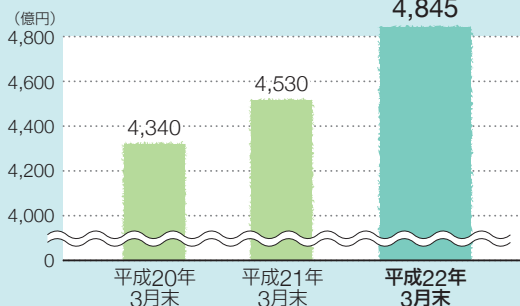


当期末の貸出金残高は、既存貸出先への資金ニーズ対応、新規貸出先増強等に努めた結果、平成21年3月末比304億円増加し1兆5,305億円となりました。また、住宅ローンについては、販売体制強化による顧客層の拡大に努めたほか、相談会開催等によりお客さまの借換えニーズへの積極的な取組みを図ったことにより、住宅ローン残高は4,845億円と平成21年3月末比315億円の増加となりました。

### ◎総貸出金残高



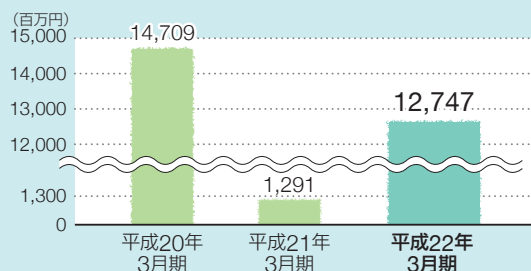
### ◎住宅ローン残高



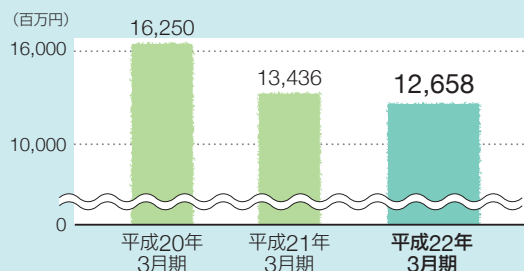
## 損益の状況

貸出金は堅調に推移しましたが、市場金利低下の影響もあり、貸出金利息が平成21年3月末比20億70百万円の減少となるなど資金利益が減少したほか、投資信託販売の低迷等により役務取引等利益が減少し、コア業務純益は、平成21年3月末比7億78百万円減少しました。一方、金融市場環境の安定により、国債等債券損益が平成21年3月末比122億34百万円増加となり、業務純益（一般貸倒引当金繰入前）は、平成21年3月末比114億56百万円増加して、127億47百万円となりました。また、株式等関係損益も平成21年3月末比40億59百万円の増加となるなど、臨時損益が平成21年3月末比41億44百万円増加し、経常利益は、平成21年3月末比150億30百万円増加し、59億43百万円となりました。当期純利益は平成21年3月末比141億13百万円増加して54億30百万円となりました。

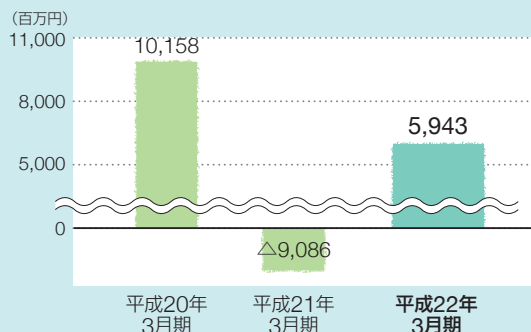
### ●業務純益（一般貸倒引当金繰入前）



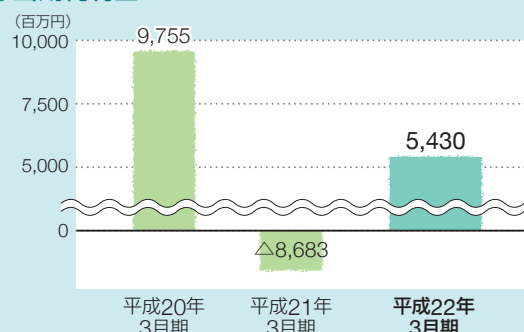
### ●コア業務純益



### ●経常利益



### ●当期純利益



※コア業務純益 業務純益から一般貸倒引当金繰入額、国債等債券関係損益を除いて算出しています。

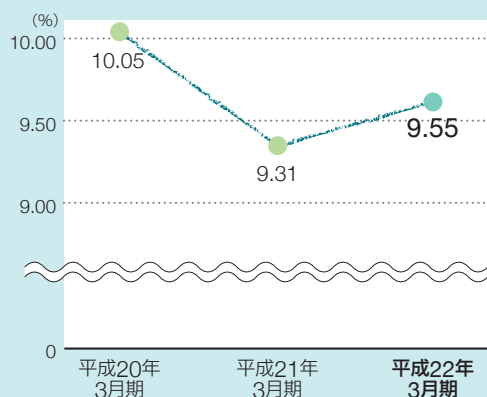


## 自己資本比率等

銀行経営の健全性をみるうえで大切な指標である自己資本比率は、当期末においても国内基準の4%を上回る9.55%となっております。

また、経営の効率性を示す経営指標である修正OHR(※)は、業務粗利益(除く国債等債券売買損益)の増加やコスト管理高度化の取組みによる経費の削減により67.00%と前期比23.31ポイントの改善となりました。また、収益性の高さを示すROA(※)は、コア業務純益の減少により0.59%と前期に比べて0.05ポイント低下いたしました。

### 自己資本比率



### 自己資本比率算定明細表

(単位:%百万円)

	平成21年3月末	平成22年3月末
1. 自己資本比率	9.31	9.55
2. 基本的項目	110,150	114,276
3. 補完的項目	10,769	10,161
(イ)うち自己資本に計上された再評価差額	—	—
(ロ)うち劣後ローン残高	6,340	5,500
4. 控除項目	154	199
5. 自己資本 (2+3-4)	120,765	124,238
6. リスクアセット	1,297,025	1,300,355
うちオンバランス	1,185,682	1,196,595
うちオフバランス	37,554	31,547
うちオペレーショナルリスク	73,787	72,212

※修正OHR(経費対修正業務粗利益率=経費÷業務粗利益(除く国債等関係損益)×100)

一定の業務粗利益を得るために、どの程度経費がかかっているかを表わす指標で、値が小さいほど経営の「効率」の高さを示しています。

※ROA《コア業務純益ベース》(総資産利益率=コア業務純益÷総資産期中平残(除く支払承諾見返)×100)

投下された総資産が利益(コア業務純益)を得るために、どの程度効率的に利用されているかを表わす指標で、値が大きいほど経営の「収益性」の高さを示しています。

## ■ 経営改善支援の取組み等

「地域経済・地域社会発展への貢献」を経営課題の一つに掲げる当行は、地元企業の経営課題解決支援に取組み、お取引先企業の経営改善を積極的にサポートすることを通じて、健全企業に再生できるよう注力してまいりました。また、中小企業貸出や住宅ローンのご返済等に関するご相談について全店に「ご返済相談窓口」を設置したほか、ローンプラザ等で休日相談に対応するなど、中小企業金融円滑化の取組みにも真摯に対応してまいりました。このような取組みを実施したことなどから、正常債権を除いた金融再生法における「開示債権額」は、平成21年3月末比55億92百万円減少し、478億97百万円となりました。総与信に占める割合（開示債権比率）は、平成21年3月末比0.41ポイント改善し3.02%となりました。

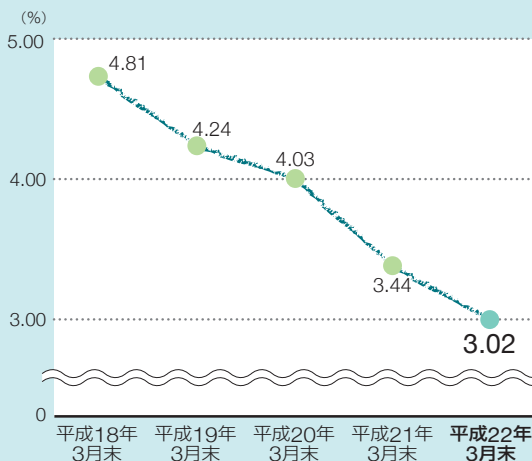
### ◎平成21年度～22年度「地域密着型金融の恒久的な取組み」数値目標の進捗状況

経営改善支援等の取組み項目	平成21年4月～平成22年3月		達成率
	数値目標	実績	
経営改善支援先に対する経営改善計画策定先数	30先以上	26先	86.6%
経営改善支援先に対する債務者区分ランクアップ率(注1)	15%以上	8.7%	58.0%
事業再生に向けた取組み先数(注2)	5先以上	9先	180%

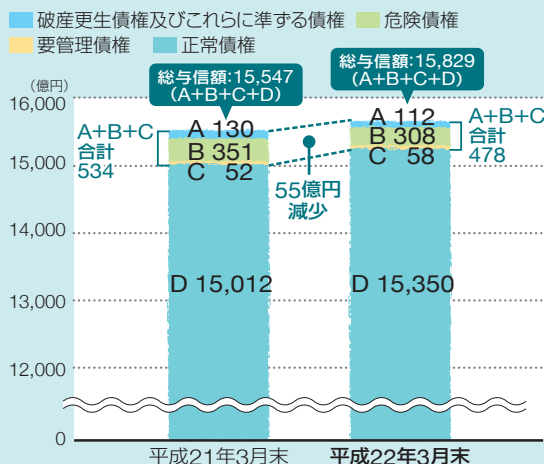
(注1) 経営改善先に対する債務者区分ランクアップ=経営改善支援先のうち期初比債務者区分ランクアップ先/経営改善支援先数(正常先除く)

(注2) 中小企業再生支援協議会支援決定、千葉県中小企業再生ファンド活用、DES・DDSの活用、再生企業に対するエグジットファイナンス実行等の先数。

### ◎金融再生法に基づく開示債権比率



### ◎金融再生法に基づく開示債権額比較





## ■ 営業店設備等の充実

当行は、CS(お客さま満足度)向上とCSR(企業の社会的責任)の取組みの一環として、障がいのあるお客さまやご高齢のお客さまに配慮した取組みを促進し、お客さまの利便性向上を目指しております。

平成21年度においては、平成21年11月24日に蘇我支店、平成22年3月23日に千葉ニュータウン支店をリニューアルオープンいたしました。両店舗とも、「エコ(eco)でやさしい店づくり」をテーマに「お客さまにやさしい」「地域にやさしい」「環境にやさしい」の3つのコンセプトに基づいて、これまで以上にお客さまにご満足いただけるよう、より使いやすい工夫を凝らした店舗となっております。具体的には、車いすに対応した広々とした駐車スペースやゆとりある個別相談ブースの確保、また点字ブロックや多目的トイレの設置のほか、地球温暖化等の環境問題に配慮した太陽光発電システム、ヒートアイランド現象を抑制する屋上緑化システムの導入(蘇我支店)に取り組んでおります。

## ■ 格付け

当行は、中立的な第三者による評価を取得し公表することで、投資家の皆さまやお取引先の皆さまに財務内容の健全性や収益性などについてご理解いただくため、平成18年10月に株式会社日本格付研究所(JCR)から長期優先債務(※)格付けを取得いたしました。平成21年11月に見直しを行い以下のとおりとなっております。

格付け

「BBB(トリプルBフラット)」【据え置き】

格付け見直し

「安定的」【「ポジティブ」より変更】

(格付けの公表:平成21年11月20日) ※長期優先債務:格付対象会社の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。

## ■ 利益配分に関する基本方針等

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営を確保するため内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当に努めていくことを基本方針としております。

**優先株式の配当** 当期の優先株式の配当につきましては、所定の配当をいたします。

**普通株式の配当** 当期の普通株式の配当につきましては、見送らせていただくことといたしました。  
普通株式の株主の皆さまには、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## ■ 株主優待制度の拡充

現在の株主優待制度である「さわやかハロー24」(※)は、多くの株主の皆さまにご好評いただいております。今般、これに加えまして株主優待制度の拡充として、平成22年3月31日現在で千葉興業銀行の株式を100株以上所有されている個人・法人の株主さまを対象に『株主優待定期預金』を特別金利にてお預入れいただける制度を新設いたします(平成22年7月実施予定)。「さわやかハロー24」ともども、ご利用いただけますようお願い申し上げます。

※「さわやかハロー24」

当行の株主さまに無料で、健康や医療に関するご相談をベテランの医師などが電話でお受けするサービスです。健康・医療相談のほか、夜間・休日診療の医療機関ご案内、医療機関情報のご提供、介護などシルバー情報のご提供についてご利用いただけます。

# 地域コーナー

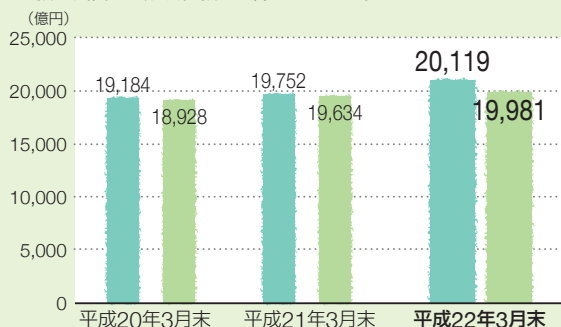
## 地域のお客さまとのお取引の状況

当行の預金の大半は地域のお客さまからお預りしております。そして、地域のお客さまからお預りした大切な預金の大半を県内の企業や個人のお客さまへの貸出に向けております。また、平成22年3月末の県内保証協会保証付貸出金は11,108件の1,430億円となっております。

(注) 当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

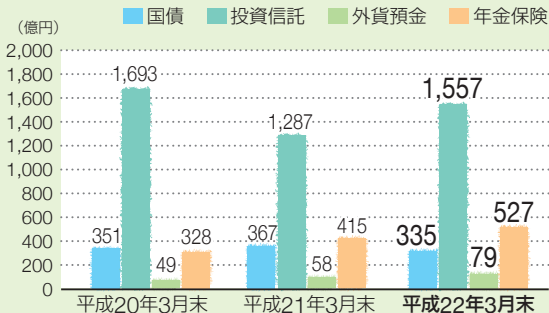
### ●預金残高等

※預金残高には譲渡性預金を含めております。



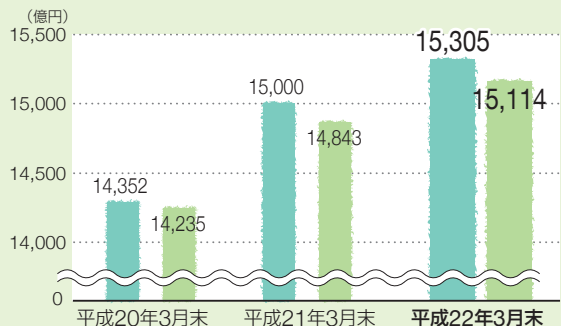
### ●預り資産残高

平成22年3月末の預り資産の大半が県内での預り資産です。



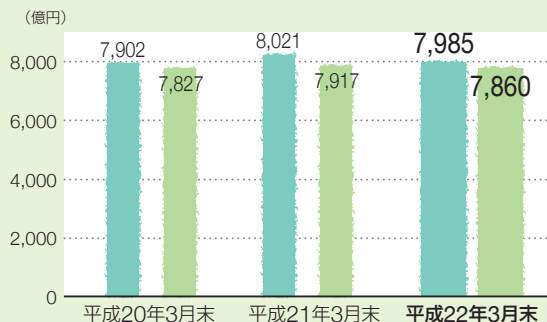
### ●貸出金残高等

Legend: 総貸出金 (Total Loans), うち県内貸出金 (Loans within Chiba Prefecture)

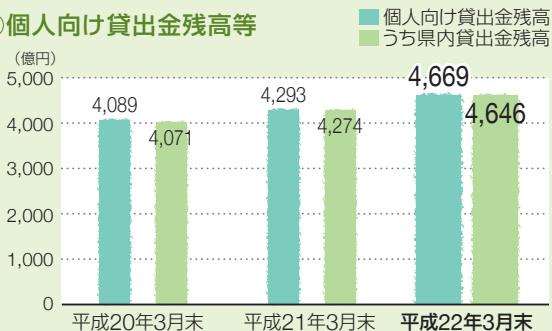


### ●中小企業向け貸出金残高等

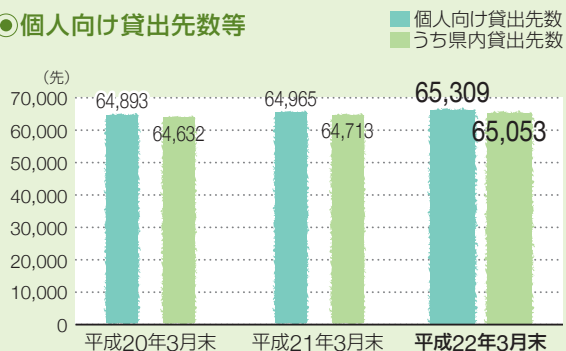
Legend: 中小企業向け貸出金残高 (Loans to SMEs), うち県内貸出金残高 (Loans to SMEs within Chiba Prefecture)



### ●個人向け貸出金残高等

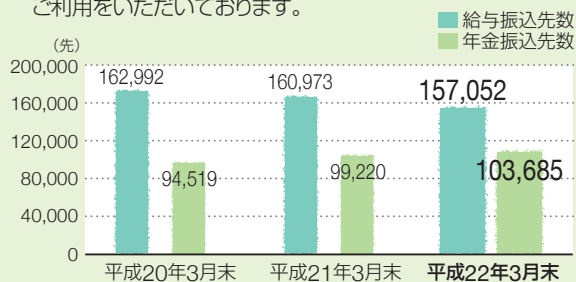


### ●個人向け貸出先数等



### ●給与振込・年金振込の口座数

給与振込や年金振込などについても、たくさんのお客さまのご利用をいただいております。



### ●業務別貸出金残高

当行は、それぞれの業種において、資金供給者として重要な役割を担っております。

(単位:億円)

平成22年3月末	貸出金残高	
	うち県内向け	
製 造 業	1,635	1,582
農 業 ・ 林 業	44	44
漁 業	0	0
鉱業・採石業・砂利採取業	27	27
建 設 業	900	894
電気・ガス・熱供給・水道業	78	78
情 報 通 信 業	44	44
運 輸 業 ・ 郵 便 業	541	532
卸 売 業 ・ 小 売 業	1,888	1,848
金 融 業 ・ 保 険 業	572	569
不動産業・物品賃貸業	2,948	2,908
各 種 サ ー ビ ス 業	1,676	1,660
地 方 公 共 団 体	253	253
そ の 他	4,691	4,668
合 計	15,305	15,114

# CSRの取組み～地域社会・地域経済への貢献～

## 文化・スポーツ活動

### 「美しい房総」写真展の開催

美しい郷土・風景をお楽しみいただこうと、JR千葉駅にて、季節にあわせ毎月3点の写真を展示しております。

また、当行の営業店でも随時展示しております。



### コスモスコンサートの開催

地元の皆さまにクラシック音楽に親しんでいただけるよう、JR千葉駅前広場にて年2回(6月「祝・千葉県民の日」、10月「祝・千葉市民の日」)、ミニコンサートを16年連続で開催しております。



### 「ちば興銀コスモスセミナー」の開催

「千葉県に関する知識・情報をお客さまと共有する」をコンセプトに、無料公開講座を年2回開催しており、毎回ご好評をいただいております。第12回は22年3月に「未来に引き継ぐちばの名所・文化財」をテーマに開催し、約120名のお客さまが受講されました。



### 各種スポーツ大会への協賛

21年9月に、当行主催による「第20回千葉興業銀行杯親善ゲートボール大会」を、県内ゲートボール愛好家60チーム・約400名の参加により開催いたしました。

「千葉県障がい者スポーツ大会」への協賛及び選手参加(5月)。その他県スポーツ振興財団への協賛をしております。



## 社会奉仕活動

### 小さな親切運動の推進

当行は、35都道府県が参加する全国的組織「小さな親切運動」の千葉県本部および事務局として、県内の運動推進に努めております。「小さな親切」を実行した人に贈る「実行章」は、千葉県内で21年度において2,329名が受章されました(累計303千人以上で全国第2位)。

当行行員は全員会員で、清掃等のボランティア活動や寄付・募金活動を実施しております。



### 交通安全意識を啓蒙

当行と千葉日報社が共同で設立した「コスモス交通安全協力会」より、県内新中学一年生へスポークライト(自転車事故防止用反射板)8,500個を贈呈しております(15年間で延べ209,250個)。

また、県の交通安全推進委員会が推進する交通安全運動期間におけるポスターの全店掲示および、交通安全リボンを着用しております。



### 地域交流活動への積極的参加

春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフおよびその家族がボランティア参加しております。(全部室店参加 総数1,194名)

また、国道14号・357号沿線の16企業・団体に組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道を清掃しております。(21年度延べ454名参加)



### 寄付活動

行員やお客さまから集めた不要衣料品を千葉県民間病院協会事務局の柏戸病院へ寄贈しております。

また、全店から集めた古切手・使用済テレカ等を、千葉市社会福祉協議会ボランティアセンターへ寄贈しております。これらは、障がい者への車椅子購入やボランティア活動資金に利用されております。

当行役職員による募金活動「ともしびの会」より、年末に県内の養護施設等へ浄財を寄贈しております。





## 中小企業育成への取組み

### 千葉元気印企業大賞

平成7年度より当行はフジサンケイビジネスアイ(日本工業新聞社)との共催で、千葉県の活気あふれる中小企業・ベンチャー企業の表彰を通じ、地域企業の一層の発展を目指しております。



## 地域活性化への取組み

### 聖徳大学短期大学部との産学連携

聖徳大学短期大学部と産学連携に関する協定を締結し、5月10日に調印式を行いました。

今後の予定として、金融等の実学講義への当行からの講師派遣、当行のインターンシップへの聖徳大学短期大学部学生の受入、地域活性化に寄与する産学連携活動(当行が主催する「食」のイベント「千産千商2010」)などを連携して行ってまいります。



## 中小企業へ向けた取組み

### 「経営品質向上プログラム」の提供

企業が継続的に発展を続けるための仕組みである「経営品質向上プログラム」の提供を通じて、地元中小企業の成長を支援しております。

平成21年度は、プログラムを紹介する「企業変革セミナー」を県内2か所で地域力連携拠点事業として開催したほか、プログラムの実践をサポートする「次世代リーダー革新講座(全5回、経営者向け)」と「次世代経営研究講座(全12回、2会場、経営者・従業員向け)」を開催いたしました。





## 次世代経営者育成への取組み

### ちば興銀「経営塾」

ちば興銀「経営塾」は、地元企業育成支援・次世代経営者育成支援の取組みの一つとして平成16年9月に設立されました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的に開催しております。これまでに100名を超える塾生が学び、本年10月からは第四期生の活動がスタートいたします。

#### 最近の活動状況

- 21/11 オーナー経営者のためのリスクマネジメント講座(第2講)
- 22/1 新春講演会&賀詞交歓会
- 22/2 中国ビジネスセミナー
- 22/5 ブランド力と事業の拡充をはかるための  
広報活動基礎講座



## 課題解決セミナー

### 「2代で考える事業承継」セミナーの開催!

事業承継問題の解決をお手伝いする「2代で考える事業承継」セミナーを昨年12月に開催いたしました。セミナーには32社(42名)のお客さまにご参加いただき、「新」事業承継税制の仕組みやメリット・デメリットなどについて、わかりやすく解説いたしました。

また、セミナー参加者からの「後継者の育成」や「自社株の円滑な譲渡」等についてのご相談に対応し、課題解決につながる具体的なお提案を行っております。

6月には、事業承継とともに企業の課題となっている販路拡大・営業力強化に対応する「ネットショップ活用セミナー」の開催を予定しております。

今後もお客さまの課題解決につながる情報提供をまいります。



## 次世代育成への取組み ～仕事と子育ての両立～

### 「子育てお母さん応援講座」の開催

千葉県が推進する「女性の再就職支援」事業のなかの一部講座を当行が担当し、「子育てお母さん応援講座」として再就職を目指す県内の女性を対象に、「職場見学」や「従業員との懇談」等を開催いたしました。職業理解の機会を提供することで、仕事と子育ての両立を希望する県内の女性の再就職を応援しております。

平成22年3月18日 参加者7名



### 「エコノミクス甲子園千葉大会」の開催!

次世代育成支援活動のひとつとして、「全国高校生金融経済選手権大会(エコノミクス甲子園)」千葉大会を、昨年11月に本店にて開催いたしました。

「エコノミクス甲子園」とは、社会に羽ばたく前の高校生を対象として、世の中がどのような金融経済の仕組みで動いているのか理解して読み解き、自分の「ライフデザイン」や「お金との関わり方」についてクイズを通して考えるきっかけとするためのイベントです。金融経済教育の普及を図るためにNPO法人金融知力普及協会が実施しており、今回で4回目の開催ですが、千葉大会としては初開催となりました。この記念すべき第1回大会を当行本店にて千葉銀行と共同で主催いたしました。

(後援:千葉県・千葉県教育委員会・千葉県金融広報委員会)

平成21年11月29日 参加29チーム



# トピックス

## 『マリーンズ応援団定期2010』発売! (平成22年4月)

毎年期間限定にて取扱っている恒例の定期預金「マリーンズ応援団定期」の取扱いを開始いたしました。(平成22年8月31日まで。)この定期預金は、千葉ロッテマリーンズの戦績によりお預入れいただいた定期預金の上乗せ金利が決まります。今年で10回目の取扱いとなりますが、毎回、地元球団である千葉ロッテマリーンズを応援する多くのお客さまに大変ご好評をいただいております。

※詳細については、「商品概要説明書」(当行ホームページにも掲載)をご覧ください。  
※販売期間内でも、募集総額(500億円)に達した場合には販売を中止することがあります。



## 「コスモスローン」に新しい割引金利を設定! (平成22年4月)

「コスモスローン」において「コスモスクラブ」による割引金利に加えて、環境・福祉に配慮した新しい割引金利を設定いたしました。

「コスモスローン・マイカー」においてハイブリッド車等の低公害車・福祉車両をご購入の場合、「コスモスローン・リフォーム」においてバリアフリーリフォーム、またはエコ関連住宅設備設置工事等の場合にご利用いただける制度です。

※「コスモスクラブ」による割引と上記割引は併用できません。  
※詳細については、「商品概要説明書」(当行ホームページにも掲載)をご覧ください。



## 「地銀住宅ローン共同研究会」への参加!

住宅ローン商品の共同開発や共同プロモーションの実施、業務の合理化・高度化につながる手法の研究等を行い、お客さまのニーズを重視した付加価値の高い商品を、低コストで地域のお客さまに広く提供するため、「地銀住宅ローン共同研究会」に参加いたしております。

同研究会企画商品である**女性専用住宅ローン「ゆとりーな」**や、同研究会企画サービスである**住宅ローン利用者向けサービス「ホップ・ステップ・住まいる」**の取扱いを開始。いずれも住宅ローン福利厚生専門会社である、株式会社リラックス・コミュニケーションズが提供するライフサポートサービス「Club Off」の各種特典が付帯されており、国内外のホテルやレジャー施設、家事代行サービス・医療施設などが優待価格<sup>(※)</sup>でご利用いただけます。

※「Club Off」の優待は、「ゆとりーな」が住宅ローンのお借入れから原則として5年間、「ホップ・ステップ・住まいる」は原則として住宅ローンのお借入れが終わるまでとなります。  
※詳細については、「商品概要説明書」(当行ホームページにも掲載)をご覧ください。



## エコ(eco)でやさしい店づくり

### ～蘇我支店・千葉ニュータウン支店新築オープン!!～

「エコ(eco)でやさしい店づくり」をテーマに、よりお客さまの目線に立った3つのコンセプトに基づく新しい店舗づくりを行っています。このたび蘇我支店・千葉ニュータウン支店を新築移転いたしました。

新店舗には、休祝日や時間外でも便利にご利用いただける365日稼働の全自動貸金庫を設置。ゆったりとしたロビー、ゆとりのある個別相談ブース等でお客さまをお迎えしております。

また、地球温暖化等の環境問題に配慮し、当初の屋上緑化システム(蘇我)や太陽光発電システムによる省エネ化への取組みやカーボンオフセットの認証を受けているカーペット・床材を採用するなど、積極的に環境負荷の低減に努めております。

さらに、店舗内ATM全台を生体認証システム対応とするほか、目のご不自由な方に配慮したハンドセットを設置。点字ブロックの設置や、バリアフリー対応等により、「千葉県福祉のまちづくり条例にもとづく特定施設」としての認定も受けております。

店舗2階には、年金・資産運用などの各種セミナーを休日にも開催できるセミナールームを備えており、地域の皆さまへ様々な情報を積極的に発信していく予定です。

今後もお客さまにより一層ご満足いただけるよう、積極的に各種の商品・サービス拡充に取り組んでまいります。





## 「指静脈認証ICキャッシュカード」取扱い中!



キャッシュカードの偽造・盗難被害からお客さまの大切なご預金をお守りするため、「指静脈認証ICキャッシュカード」の取扱いをいたしております。

「指静脈認証ICキャッシュカード」は、偽造やスキミングが困難なICチップに指静脈情報を登録し、ATM取引時に専用の認証機にて、暗証番号による認証に加え、指静脈情報を照合して本人の確認を行うセキュリティの高いカードです。発行手数料無料(\*)でご利用いただけます。

※更新手続きも不要です。既にご利用中の「指静脈認証ICキャッシュカード」は更新手続きなしで引き続きご利用いただけます。



## 「お客さまにやさしい」店づくり

お身体のご不自由なお客さまやご高齢のお客さまの利便性向上を目指した店づくりを進めております。

ATMコーナーや店頭カウンター等でお手続きをされる際に杖が倒れないように固定する「杖ホルダー」を設置いたしております。

また、目のご不自由なお客さまでも操作が可能な「視覚障がい者対応ATM」を設置いたしました。ATM付属のハンドセット(受話器)から流れる操作誘導の音声ガイダンスに従い、ハンドセットについたテンキーボタンにて操作いただけます。お預入れ・お引出し・残高照会・通帳記入のお取引でご利用いただけるもので、今後、順次設置台数を増やしていく予定です。

聴力の補助が必要なお客さまやご高齢のお客さまに配慮したコミュニケーションツールとしては、全店に「筆談器」「助聴器」を設置いたしております。

筆談器は、聴力の補助が必要なお客さまやご高齢のお客さまが窓口等で会話される際にご利用いただけます。助聴器は、コンパクトな手のひらサイズで、必要なときだけ本体のスイッチを入れ、耳に当てていただくと音声を拡大するものです。

当行では、これからもお客さまにご利用しやすく、やさしい店づくりをすすめてまいります。

●杖ホルダー



●ハンドセット(受話器)



●筆談器



●助聴器



# 財務諸表

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●第88期末(平成22年3月31日現在)

### 貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	35,076	預金	2,007,015
現金	22,558	当座預金	56,148
預け金	12,518	普通預金	889,824
コーロローン	35,000	貯蓄預金	27,228
買入金銭債権	12,941	通知預金	3,301
商品有価証券	185	定期預金	1,015,396
商品国債	58	定期積金	41
商品地方債	127	その他の預金	15,074
有価証券	504,255	譲渡性預金	4,890
国債	223,011	借入金	9,700
地方債	33,609	借入金	9,700
社債	152,209	外国為替	66
株式	18,526	外国他店預り	44
その他の証券	76,900	売渡外国為替	21
貸出金	1,530,549	その他負債	16,591
割引手形	11,987	未払法人税等	160
手形貸付	84,921	未払費用	3,337
証書貸付	1,255,698	前受収益	1,329
当座貸越	177,942	給付補てん備金	0
外国為替	2,368	金融派生商品	1,057
外国他店預け	885	リース債務	836
買入外国為替	1,093	その他の負債	9,868
取立外国為替	390	退職給付引当金	4,863
その他資産	11,454	役員退職慰労引当金	50
前払費用	1	睡眠預金払戻損失引当金	400
未収収益	2,355	支払承諾	23,957
先物取引差入証拠金	3	<b>負債の部合計</b>	<b>2,067,535</b>
金融派生商品	1,628	<b>(純資産の部)</b>	
その他の資産	7,465	資本金	57,941
有形固定資産	19,013	資本剰余金	32,792
建物	6,314	資本準備金	32,792
土地	10,738	利益剰余金	26,448
リース資産	836	利益準備金	2,439
その他の有形固定資産	1,123	その他利益剰余金	24,009
無形固定資産	1,811	繰越利益剰余金	24,009
ソフトウェア	1,420	自己株式	△62
その他の無形固定資産	390	株主資本合計	117,120
繰延税金資産	23,505	その他有価証券評価差額金	3,576
支払承諾見返	23,957	評価換算差額等合計	3,576
貸倒引当金	△11,887	<b>純資産の部合計</b>	<b>120,697</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>2,188,232</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,188,232</b>

## ●第88期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

### 損益計算書

(単位:百万円)

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>45,506</b>
資金運用収益	36,590
貸出金利息	29,606
有価証券利息配当金	6,573
コーロローン利息	138
預け金利息	80
その他の受入利息	191
役員取引等収益	6,031
受入為替手数料	1,871
その他の役員収益	4,160
その他業務収益	2,255
外国為替売買益	694
商品有価証券売却益	4
国債等債券売却益	1,047
金融派生商品収益	279
その他の業務収益	229
その他経常収益	627
株式等売却益	153
その他の経常収益	474
<b>経常費用</b>	<b>39,562</b>
資金調達費用	3,743
預金利息	3,463
譲渡性預金利息	19
コールマネー利息	0
借入金利息	243
その他の支払利息	16
役員取引等費用	3,397
支払為替手数料	372
その他の役員費用	3,025
その他業務費用	959
国債等債券売却損	131
国債等債券償還損	273
国債等債券償却	552
その他の業務費用	1
営業経費	24,928
その他経常費用	6,532
貸倒引当金繰入額	1,521
貸出金償却	2,988
株式等売却損	368
株式等償却	1,085
その他の経常費用	568
<b>経常利益</b>	<b>5,943</b>
<b>特別利益</b>	<b>933</b>
固定資産処分益	0
償却債権取立益	932
<b>特別損失</b>	<b>135</b>
固定資産処分損	135
<b>税引前当期純利益</b>	<b>6,741</b>
法人税、住民税及び事業税	52
法人税等調整額	1,259
<b>法人税等合計</b>	<b>1,311</b>
<b>当期純利益</b>	<b>5,430</b>

## ●第88期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

### 株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>株主資本</b>		<b>自己株式</b>	
資本金		前期末残高	△60
前期末残高	57,941	当期変動額	
当期変動額	—	自己株式の取得	△2
当期変動額合計	—	当期変動額合計	△2
前期末残高	57,941	前期末残高	△62
<b>資本剰余金</b>		<b>株主資本合計</b>	
資本準備金		前期末残高	113,112
前期末残高	32,792	当期変動額	
当期変動額	—	剰余金の配当	△1,419
当期変動額合計	—	当期純利益	5,430
前期末残高	32,792	自己株式の取得	△2
当期変動額合計	—	当期変動額合計	4,008
前期末残高	32,792	当期末残高	117,120
当期変動額	—	<b>評価・換算差額等</b>	
当期変動額合計	—	その他有価証券評価差額金	
前期末残高	32,792	前期末残高	△11,037
<b>利益剰余金</b>		当期変動額	
利益準備金		株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	14,614
前期末残高	2,155	当期変動額合計	14,614
当期変動額		当期末残高	3,576
剰余金の配当	283	<b>評価・換算差額等合計</b>	
当期変動額合計	283	前期末残高	△11,037
前期末残高	2,439	当期変動額	
その他利益剰余金		株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	14,614
繰越利益剰余金		当期変動額合計	14,614
前期末残高	20,282	当期末残高	3,576
当期変動額		<b>純資産合計</b>	
剰余金の配当	△1,703	前期末残高	102,074
当期純利益	5,430	当期変動額	
当期変動額合計	3,727	剰余金の配当	△1,419
前期末残高	24,009	当期純利益	5,430
利益剰余金合計		自己株式の取得	△2
前期末残高	22,437	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	14,614
当期変動額		当期変動額合計	18,622
剰余金の配当	△1,419	当期末残高	120,697
当期純利益	5,430		
当期変動額合計	4,010		
前期末残高	26,448		



●第88期末(平成22年3月31日現在)  
連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	35,078	預金	2,001,075
コールローン及び買入手形	35,000	譲渡性預金	4,890
買入金銭債権	12,942	借入金	16,846
商品有価証券	185	外国為替	66
有価証券	503,860	その他負債	22,396
貸出国為替	1,525,275	退職給付引当金	5,005
外国為替	2,368	役員退職慰労引当金	92
その他資産	31,839	睡眠預金払戻損失引当金	400
有形固定資産	19,287	支払承諾	39,486
建物	6,315	<b>負債の部合計</b>	<b>2,090,260</b>
土地	10,738	(純資産の部)	
リース資産	32	資本金	57,941
その他の有形固定資産	2,199	資本剰余金	32,792
無形固定資産	1,945	利益剰余金	29,071
ソフトウェア	1,516	自己株式	△63
リース資産	33	<b>株主資本合計</b>	<b>119,742</b>
その他の無形固定資産	395	その他有価証券評価差額金	3,586
繰延税金資産	23,734	評価・換算差額等合計	3,586
支払承諾見返	39,486	少数株主持分	1,421
貸倒引当金	△15,993	<b>純資産の部合計</b>	<b>124,750</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>2,215,010</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,215,010</b>

●第88期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)  
連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>53,810</b>
資金運用収益	36,455
貸出金利息	29,654
有価証券利息配当金	6,379
コールローン利息及び買入手形利息	138
預け金利息	80
その他の受入利息	203
役員取引等収益	6,844
その他業務収益	2,255
その他経常収益	8,254
<b>経常費用</b>	<b>47,509</b>
資金調達費用	3,866
預金利息	3,454
譲渡性預金利息	19
コールマネー利息及び売渡手形利息	0
借入金利息	369
その他の支払利息	24
役員取引等費用	2,335
その他業務費用	959
営業経費	25,133
その他経常費用	15,213
貸倒引当金繰入額	2,694
その他の経常費用	12,518
<b>経常利益</b>	<b>6,301</b>
<b>特別利益</b>	<b>948</b>
固定資産処分益	0
償却債権取立益	947
<b>特別損失</b>	<b>135</b>
固定資産処分損	135
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>7,114</b>
法人税、住民税及び事業税	258
<b>法人税等調整額</b>	<b>1,216</b>
<b>法人税等合計</b>	<b>1,474</b>
<b>少数株主利益</b>	<b>207</b>
<b>当期純利益</b>	<b>5,432</b>

●第88期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)  
連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>株主資本</b>		<b>評価・換算差額等</b>	
株主資本		その他有価証券評価差額金	
前期末残高	57,941	前期末残高	△11,035
当期変動額	-	当期変動額	14,621
当期変動額合計	-	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	14,621
当期末残高	57,941	当期変動額合計	3,586
<b>資本剰余金</b>		<b>評価・換算差額等合計</b>	
前期末残高	32,792	前期末残高	△11,035
当期変動額	-	当期変動額	3,586
当期変動額合計	-	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	14,621
当期末残高	32,792	当期変動額合計	3,586
<b>利益剰余金</b>		<b>少数株主持分</b>	
前期末残高	25,058	前期末残高	1,114
当期変動額	△1,419	当期変動額	306
当期純利益	5,432	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	306
剰余金の配当	△1,419	当期変動額合計	1,421
当期変動額合計	4,013	<b>純資産合計</b>	
当期末残高	29,071	前期末残高	105,811
<b>自己株式</b>		当期変動額	△1,419
前期末残高	△60	当期純利益	5,432
当期変動額	△2	自己株式の取得	△2
自己株式の取得	△2	株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	14,928
当期変動額合計	△63	当期変動額合計	18,938
当期末残高	△63	当期末残高	124,750
<b>株主資本合計</b>			
前期末残高	115,732		
当期変動額	△1,419		
剰余金の配当	△1,419		
当期純利益	5,432		
自己株式の取得	△2		
当期変動額合計	4,010		
当期末残高	119,742		

# 役員・株式の状況

## 役員 (平成22年6月29日現在)

取締役頭取・CEO	青柳	俊一
取締役副頭取・COO	梅村	星児
専務取締役・専務執行役員	星野	智史
常務取締役・常務執行役員	安良	博男
常勤監査役	安田	達央
常勤監査役	奥田	行雄
監査役	小口	弘史
監査役	佐藤	英夫

(注) 監査役小口弘史氏および佐藤英夫氏は、東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2にいう独立役員であります。

## 株式の状況 (平成22年3月31日現在)

### ① 株式数

株式の種類	発行可能株式総数	発行済株式の総数
普通株式	138,750千株	50,722千株
第一回第一種優先株式	1,250千株	1,250千株
第二回第二種優先株式	5,000千株	5,000千株
第三回第三種優先株式	35,000千株	17,150千株

### ② 株主数

普通株式	12,318名
第一回第一種優先株式	2名
第二回第二種優先株式	2名
第三回第三種優先株式	1名

### ③ 大株主

株式の種類	氏名又は名称	持株数 (千株)	持株比率 (%)
普通株式	株式会社みずほコーポレート銀行	4,791	9.45
	株式会社みずほ銀行	4,791	9.45
	日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,432	4.80
	明治安田生命保険相互会社	2,158	4.25
	株式会社損害保険ジャパン	1,775	3.50
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,484	2.92
	坂本飼料株式会社	1,249	2.46
	みずほ信託銀行株式会社	926	1.82
	東京海上日動火災保険株式会社	692	1.36
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	633	1.25
第一回第一種優先株式	株式会社みずほコーポレート銀行	625	50.00
	株式会社みずほ銀行	625	50.00
第二回第二種優先株式	株式会社みずほコーポレート銀行	2,500	50.00
	株式会社みずほ銀行	2,500	50.00
第三回第三種優先株式	株式会社整理回収機構	17,150	100.00

- (注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
 3. 普通株式の持株比率は自己株式(51,768株)を控除して、算出しております。

## 株式のご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 配当受領  
株主確定日 期末配当:毎年3月31日  
中間配当:毎年9月30日
- 定時株主総会 毎事業年度終了後3か月以内に開催
- 基準日 定時株主総会については、毎年3月31日  
その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日
- 単元株式数 100株
- 公告掲載新聞 東京都において発行する日本経済新聞  
なお、決算公告につきましては、  
当行ホームページの下記アドレスに  
掲載いたします。  
<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/toushi/ir/koukoku.html>

- 株式事務取扱場所  
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
本店 証券代行部

### 手続きのお申出先

	特別口座の場合	証券会社に口座をお持ちの場合
郵便物 送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4	お取引の証券会社 になります。
電話お問い 合わせ先	0120-288-324 (フリーダイヤル)	
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店	
ご注意	単元未満の買取以外の株式 売買はできません。電子化 前に名義書換を失念して お手元に他人名義の株券 がある場合は至急ご連絡 ください。	未払配当金の支払、 支払明細発行に ついては、 左の「特別口座の 場合」の郵便物 送付先・電話お問い 合わせ先・お取扱店を ご利用ください。

### 株皆様のご住所・お名前等に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株皆様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株皆様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。  
株皆様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



〒261-0001 千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

TEL.043-243-2111

<http://www.chibakogyo-bank.co.jp/>



このミニディスクロージャー誌は環境に配慮した  
植物性大豆油インキを使用しています。